

# 道路分野で新事業展開

## 建設コンサル

情報通信技術 (ICT) を活用して道路交通分野の新事業領域を開拓する動きが建設コンサルタント業界で活発化している。インフラ整備の計画策定や調査、設計といった従来業務から枠を広げ、維持管理を効率化するシステムを開発・販売する動きや膨大なデータを加工して行政機関や民間企業に提供する取り組みが目立つ。国内だけでなくインフラ需要が旺盛な新興国市場も視野に入れ、ハード、ソフト両面で事業開拓が本格化してきた。

### Ⅱ、Ⅲ面に関連記事

14日に開幕した「IT 研究所、オリエンタルコム (高度道路交通システム) 研究、オリエンタルコム」世界会議東京2013 スコなどの大手各社が「3」に合わせ、東京都江 ースを出展している。東区の東京ビッグサイト 日本工営は、ベトナムで開かれている展示会。など海外で実施しているコンサル業界からは、日 ITS 関連の調査・計画本工営やパシフィック コ 策定業務を、パネルで紹介ンサルタツツ、建設技術 介。企画、調査、設計、



構築、運用の各段階で展開するコンサルテイングの実績も併せて情報発信している。

建技は、多機能携帯電話 (スマートフォン) を利用した情報提供で環境負荷を低減する取り組み、プロンプデータを活用した災害時の交通分析、大規模イベント開催

ITS 世界会議東京2013の展示会で、各社は自社の取り組みを積極的に発信している—15日午前、東京都江東区の東京ビッグサイトで

## ICT活用し領域開拓

にセンサー技術を融合し先読み道路情報として利用することで、先進運転システムの市場が開拓できると見込む。

時の渋滞情報提供など、ビッグデータを活用した新分野の事業を狙う。オリコンサルはベトナムを中心としたITS分野の海外実績を紹介する。所要時間案内サービス▽スマートフォンや携帯情報端末を利用した道路パトロール支援システム▽を使った交通安全関連の橋梁の健全度監視システム—などを開発。海外展開も視野に入れ提案活動を積極的に進めている。

パスコは、自動車メーカーが開発している自動運転システムでの活用を視野に、高精度な道路情報を加工し提供するビジネスの開拓を狙う。道路を走りながら測量などを行うモバイル・マッピングシステム (MMS) の容量の小さな道路データも図りながら、取り組みを加速させている。

## 新興国市場も視野